

編集後記

コロナ禍のため、今年度もオンライン授業・ハイブリッド授業（クラスの半分の学生がオンライン、もう半分が教室で授業を受ける）・対面授業と、3つのスタイルで授業を実施してきました。さまざまな授業方法と多様な学生たちへの対応が必要となり、教員は大忙し、研究に集中する時間も心の余裕も持ちにくい状況にありました。「こんな状況で、紀要を発刊するのに十分な本数の論文が集まるだろうか？」編集員として、常にそんな不安がありました。しかし、それは杞憂に終わり、専任教員及び非常勤講師の先生方から、計6本の論文が提出され、堂々と『語研紀要』第47巻第1号をお届けできることになりました。投稿していただいた先生方、語学研究所をもり立ててくださった所員の皆様、そして今年度所長として誰よりも当研究所の運営に力を注いでいただいた吉井浩司郎先生に、心より感謝申し上げます。

(近藤 浩 記)